

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-113260

(P2004-113260A)

(43) 公開日 平成16年4月15日(2004.4.15)

(51) Int. Cl.⁷

A47G 1/17

F I

A47G 1/17

テーマコード(参考)

3B111

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号	特願2002-276475 (P2002-276475)	(71) 出願人	594082785 株式会社テクノワークス 大阪市東住吉区今林2-6-11
(22) 出願日	平成14年9月24日(2002.9.24)	(74) 代理人	100080724 弁理士 永田 久喜
		(72) 発明者	沼田 國利 大阪市東住吉区今林2丁目6番11号 株式会社テクノワークス内
		Fターム(参考)	3B111 CA03 CB01 CC01 CD01 CE04

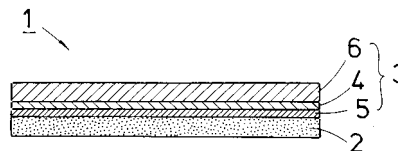
(54) 【発明の名称】 磁石付き鏡

(57) 【要約】

【課題】 家庭の冷蔵庫や会社のロッカー等に簡単に貼れ、且つ跡が残らずに外せる、簡単な鏡を提供する。

【解決手段】 柔軟性を有する面状磁石にプラスチック製の鏡を貼付したものを。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

柔軟性を有する面状磁石にプラスチック製の鏡を貼付したことを特徴とする磁石付き鏡。

【請求項 2】

該面状磁石は、軟質樹脂に磁化可能粉体を混入したものであり、プラスチック製の鏡は軟質透明樹脂にアルミ蒸着したものである請求項 1 記載の磁石付き鏡。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は、磁石付き鏡に関するものである。

10

【0002】

【従来技術】

鏡は、古くから用いられている道具の 1 つであるが、従来は金属製、ガラス製であり堅くて重いものであった。

鏡は、身だしなみを整えるときに用いるのであるが、その時両手を使いたい場合が多い。よって、手持ちタイプでは、人に持ってもらうか、何かに立てかけることが多い。しかし、1 人のときには持ってもらえないし、立てかけるのも難しい場合が多い。

【0003】

最近では、簡単に自立するものもあり比較的使いやすいものも出現してきている。

【0004】

20

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、それらはまだガラス製であり、割れる危険性がある。

また、最近では家庭の冷蔵庫や、会社のロッカーに予定表のようなものを貼付している人が多い。このような場所は頻繁に目に付くところであるということである。

とくに会社のロッカーでは、その前で着替えたり、簡単な化粧をしたりすることが多いため、ロッカー内に鏡を置いている人が多い。

【0005】

このような状況から、冷蔵庫やロッカーに鏡が取り付けられれば好ましい。

【0006】

【課題を解決するための手段】

30

以上のような現状に鑑み、本発明者は鋭意研究の結果本発明磁石付き鏡を完成したものであり、その特徴とするところは、柔軟性を有する面状磁石にプラスチック製の鏡を貼付した点にある。

【0007】

柔軟性を有する面状磁石とは、通常は熱可塑性樹脂にフェライト等の磁化可能粉体を混合し、硬化させたものである。樹脂としては、軟質塩化ビニル、軟質ポリオレフィン、ポリウレタン等のようなものでもよい。勿論、市販のものでもよい。

磁石の厚みとしては、特に限定しないが、0.2mm～1mm程度が好適である。これは、磁力による固着力とコストの問題から決めればよい。高価で強力な磁化可能粉（磁粉ともいう）を使用すればより薄いものも可能である。

40

【0008】

プラスチック製の鏡とは、プラスチックの 1 面にアルミ等の光反射物質（箔等）を塗布、貼付又は蒸着したものである。このプラスチック自体は何層であってもよい。例えば、薄いフィルムにアルミを蒸着し、それを他の厚いフィルムやシートに貼付してもよい。勿論、厚い 1 層のプラスチックに施してもよい。磁石が軟質であるため、この鏡も全体として柔軟であることが望ましいが、それに限定するものではない。

【0009】

この柔軟性を有する面状磁石と、プラスチック製の鏡を貼り合わせたものが本発明である。表面から見ると、プラスチック層、金属層、磁石層の順に積層されていることとなる。これによって、磁石が付くところならばどこでも簡単に貼りつけることができる。特に、

50

会社の着替え室のロッカーには最適である。

【0010】

以上が本発明の必須要件であるが、更に表面のプラスチック層に、防曇処理を施してもよい。これは、どのような方法でもよいが表面に防曇効果を有するものを塗布する方法が簡単である。例えば、親水性コーティング剤等である。

【0011】

更に、本鏡の全体形状は、単なる矩形や円形等の単純な形状に限らず、動物の形状や人形の形等にしてもよい。

また、表面は全面鏡ではなく、周囲や全面の一定部分に模様や図形を入れてもよい。例えば、全体形状を動物にしてその動物と分かるような絵を周囲に入れてもよい。勿論、キャラクターものでもよい。

10

【0012】

【発明の実施の形態】

以下図面に示す実施の形態に基づき本発明をより詳細に説明する。

図1は、本発明磁石付き鏡1の1例を示す断面図である。柔軟性を有する面状磁石2に、鏡3が貼付されている。面状磁石2は、軟質のポリエチレンにフェライトを練り込んだものである。厚みは、0.4mmである。

また、鏡3は、薄い透明ポリエステルフィルム4（厚み100 μ ）にアルミニウム5を蒸着し、それを厚い透明ポリエステルフィルム6（厚み0.5mm）に貼ったものである。

20

この例では、全体形状も単なる矩形であり、模様等もなく、表面処理もしていない。

【0013】

図2は、形状を鯨のデフォルメした形にし、周囲と内部に少し輪郭線7を入れたものである。勿論、その線の部分は鏡ではなくなるが一部であるため問題はない。可愛い感じになり女性に好まれる。

【0014】

【発明の効果】

以上詳細に説明した本発明では、次のような大きな効果がある。

(1) 磁石に付くところであればどこでも簡単に貼れる。ロッカー、冷蔵庫、スチール家具、スチールドア、車、種々の機械等である。

30

(2) 従来の手持ち式のものとは比べて両手が使えて便利である。

(3) 壁掛け式等と異なり、着脱が容易であとがまったく残らない。

(4) 形状や模様を工夫すると、非常に可愛いものができる。

(5) 表面に防曇処理を施すと、洗面所や風呂でも使用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の磁石付き鏡の1例を示す断面図である。

【図2】本発明の磁石付き鏡の他の例を示す平面図である。

【符号の説明】

1 本発明磁石付き鏡

2 磁石

3 鏡

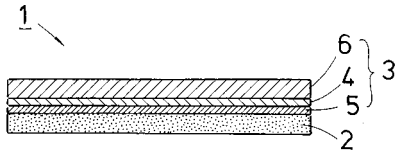
4 透明フィルム

5 アルミニウム

6 透明フィルム

40

【 図 1 】



【 図 2 】

